

YPU ドリームアドベンチャープロジェクト 2016 中間報告

新発見 山口のなかの韓国：

在日コリアンと日本人の交流の歩みと展望 in 下関

代表者（報告者） 国際文化学科4年 原田 英莉
メンバー 木原 悠
国際文化学科3年 石原 さや, 木下 裕賀, 福島 瑠璃
国際文化学科1年 ウ ヨンヒ, 深川 絵理, ミノ上 若葉
国際文化学研究科国際文化学専攻学科1年 荒木 麻耶
指導教員 金恵媛

☆プロジェクト目的

未来の日韓関係を担う大学生が、日韓交流の玄関口である下関で「在日コリアンと日本人の交流」のフィールドワークを実施し、日韓交流の歩み、山口県における位置づけ、今後の交流の在り方について探求する。

☆活動内容

5月「下関フィールドワーク」

下関での在日コリアン、日韓交流の現場を実際歩いてみました。

実際に自分たちの足で歩いたことで、普段あまり知られていない下関における朝鮮半島との関わりを知ることができ、勉強になりました。

(道順)

グリーンモール商店街→下関大韓基督教会→トングルトンネ→光明寺→下関国際旅客ターミナル



在日コリアンのお寺「光明寺」での様子

6月「やまぐち韓国研究会でのプロジェクト発表」

「やまぐち韓国研究会」にて YPU ドリームアドベンチャープロジェクト「新発見 山口のなかの韓国：在日コリアンと日本人の交流の歩みと展望 in 下関」について説明、広報を行いました。



「やまぐち韓国研究会」6月定例会での様子

7月「高校でのプロジェクト紹介」

下関中等教育学校へ訪問し高校生にプロジェクトの広報・報告活動を行いました。

8月「下関における日韓交流活動への参加」

8月20日下関市で行われた「しものせき馬関祭り朝鮮通信使行列」へスタッフとして参加し、日韓交流について調査しました。朝鮮通信使行列参加者の中には、韓国からの参加者も多く、下関は韓国と昔から関わりが深い地だということを改めて感じさせられました。



「しものせき馬関祭り」朝鮮通信使行列 休憩時の様子

9月「下関フィールドワーク」

JR 九州の方の協力のもと、普段なかなか入ることのできない「関門鉄道トンネル」殉職者の碑を見に行き、殉職者の中に朝鮮半島出身者とみられる方が存在したことを発見しました。



「関門鉄道トンネル」殉職者の碑見学の様子

10月

韓国・日本イメージ調査について、山口県立大学と釜山大学で行いました。

県大でも釜山大でも調査協力者のおかげで、約 200 名の方への調査ができました。

ありがとうございました。



県大での韓国イメージ調査の様子



釜山大学正門前での日本イメージ調査の様子

☆プロジェクト振り返りとこれから

5月～10月の活動では、下関フィールドワークを中心に、他にも下関における日韓交流活動参加者へのインタビュー調査も行ってきました。たくさんの方の協力あつての活動となり、感謝の気持ちを忘れず、今後の活動として11月～2017年1月に、フィールドワークのまとめやリーフレット作成を行っていきます。